新・故人の知らない世界

はぐくみ情報展

NPO法人支援機器普及促進協会

理事長　　高松　崇

Self-introduction

主な活動と経歴

本年度

京都市教育委員会　総合育成支援課　専門主事

京都府 特別支援教育京都府専門家チーム（宇治支援学校SSC）

ＮＰＯ　支援機器普及促進協会　理事長

昨年度以前

京都市　呉竹総合支援学校・東総合支援学校　特別非常勤講師

京都市　携帯電話市民インストラクター

京都市　ＩＣＴ活用支援員　（総合支援学校ICTコーディネーター）

京都市　総合育成支援員　（発達障害児支援）

京都市　精神障害者授産施設　京都市朱雀工房　統括職業生活支援員

京都市　地域若者ｻﾎﾟｰﾀｰ　（引きこもり支援）

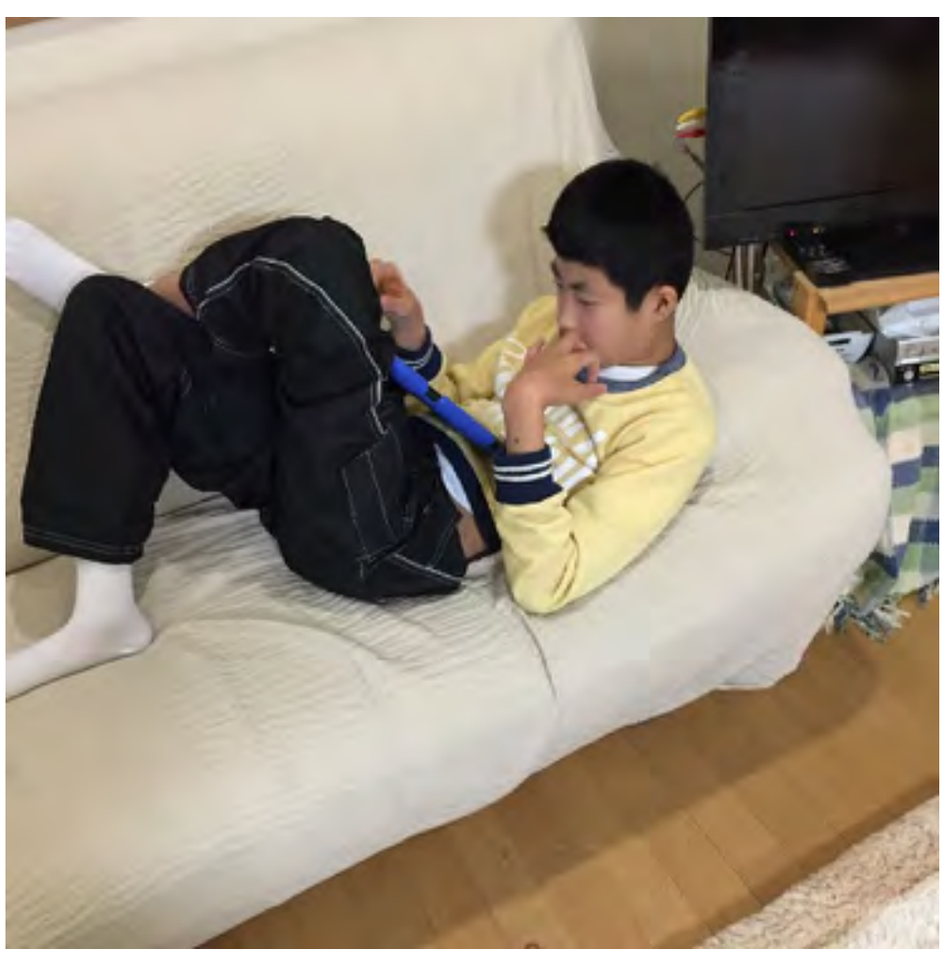
京都府教育委員会　社会教育委員

京都府高等技術専門校　在職者訓練インストラクター

中小企業基盤整備機構　経営改善ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ

私も、京都府立向日が丘支援学校　中学部１年生の三男がおります

18番テトラソミー
140,000人に一人という非常に出生率の低い染色体異常　（**18**番染色体が**4**本ある病気です）
の我が子と同じ障害を持つ方々との情報交換の場になってほしいと思いつくりました



Technology

40年ギャップ

ピアソン社（世界最大の教育関連企業）の主席教育顧問　マイケツ・ハーバーさんは「40年ギャップ説」を唱えています

「どの時代をベースに教育政策を考えるか」について、人によって40年のギャップがあり、それが大きな問題だという説です

つまり

①本来ならば生徒が社会に出て活躍する20年後を見据えて、教育のあるべき姿を考える必要がある

にもかかわらず

②現場の教師は今しか見えていない

さらに両親は

③自分たちが受けた教育（20年前）をベースに考える

という意味です

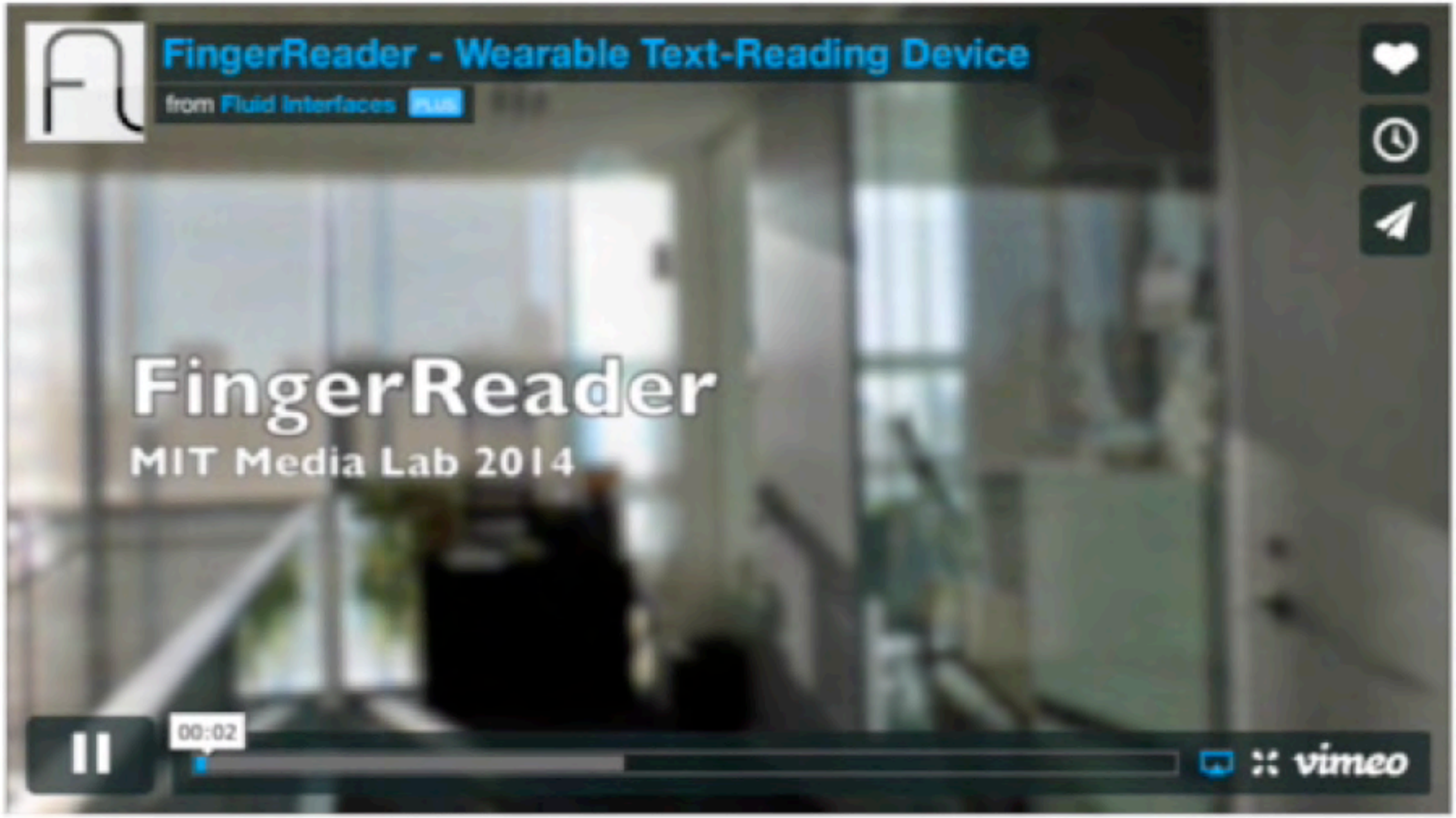
1970年ごろ

現在

未来

Gadget

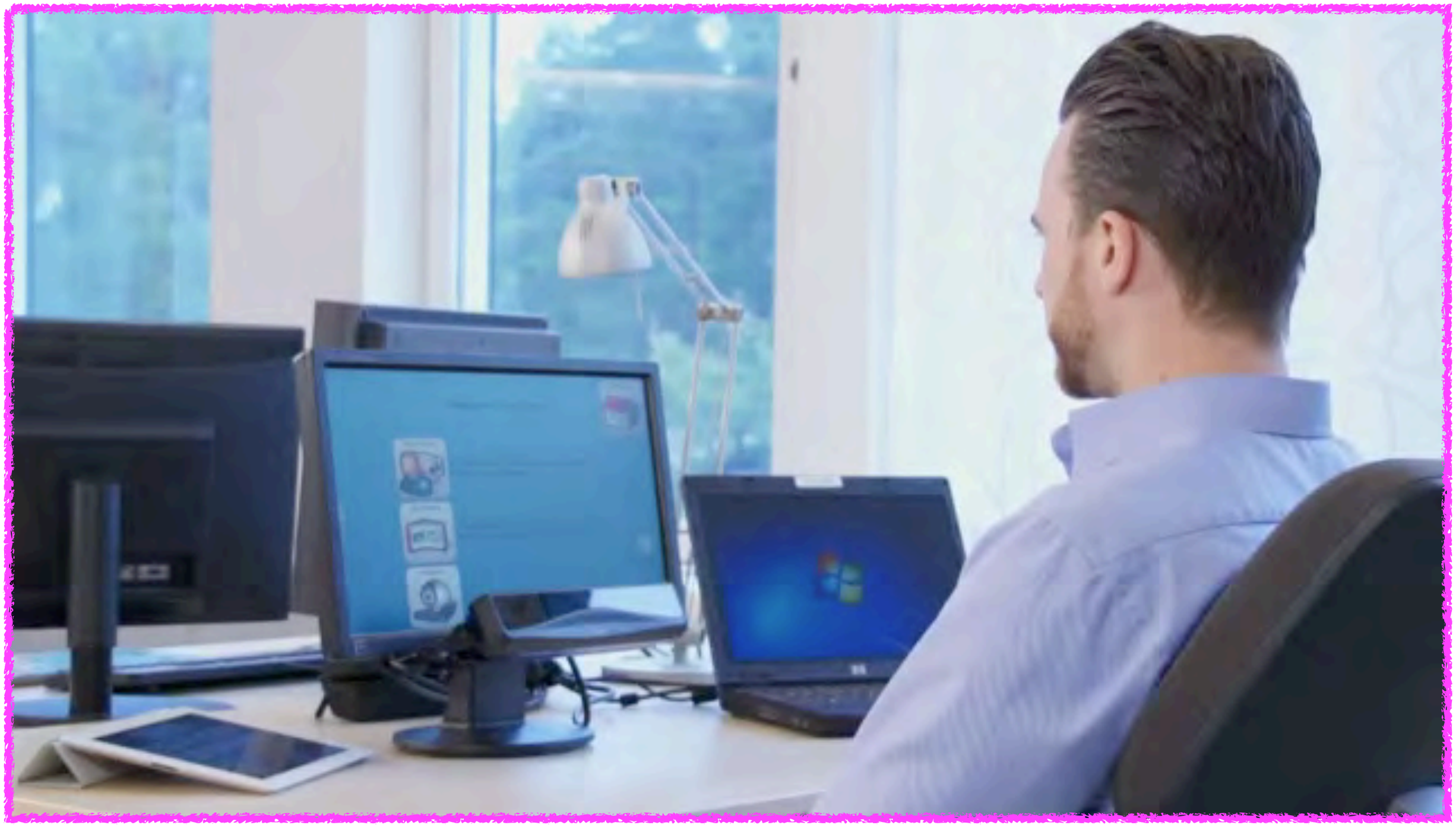
Finger Reader



Using Google Glass to Caption Conversations

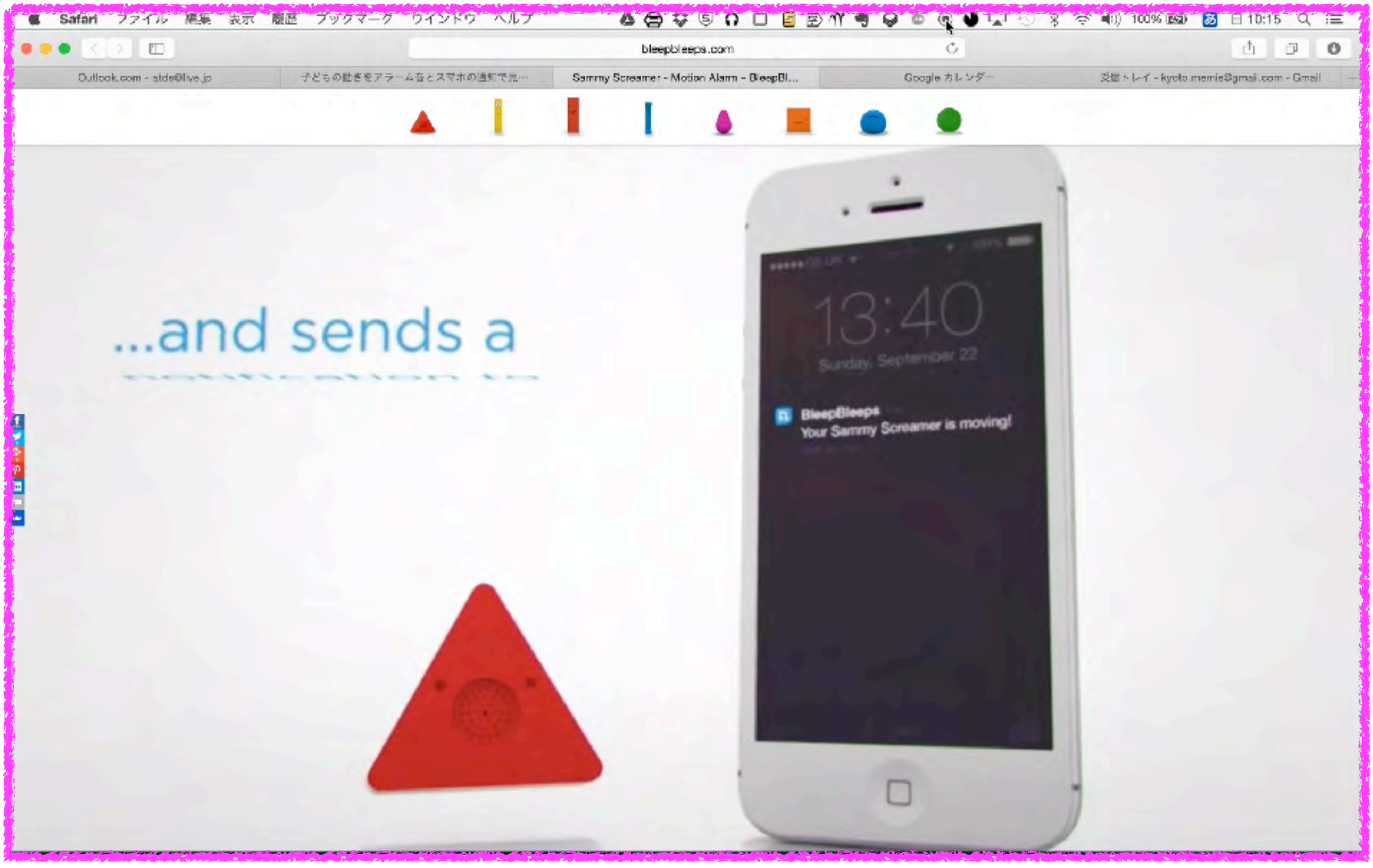
Google Gesture

Tobii PCEye



Eyedrivomatic for Hackaday Prize

Smmy Screamer Motion Alarm

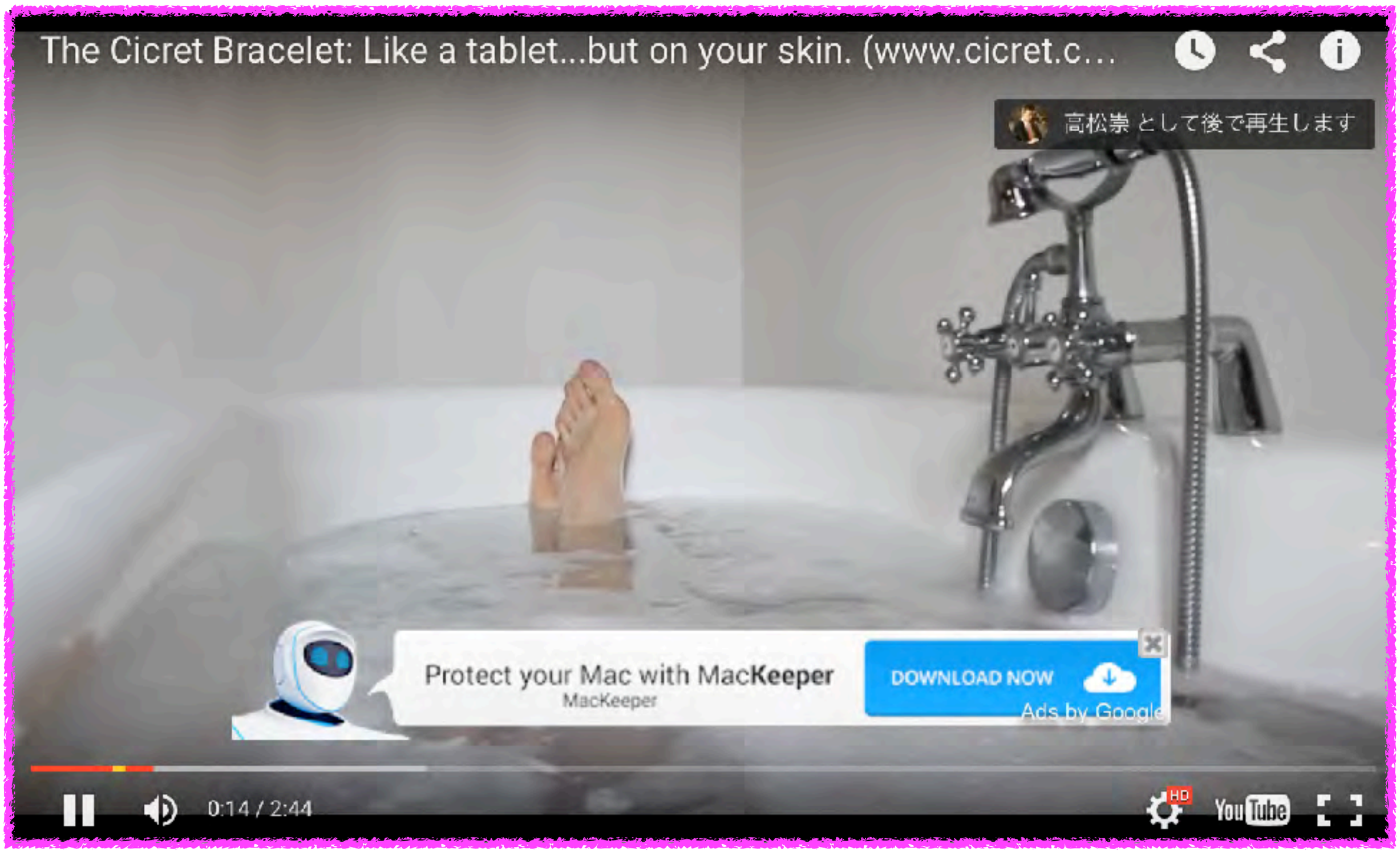


TrackerPad Sticky GPS tracker pads

MaBeee

MaKey MaKey

The Cicret Bracelet Like a tablet...but on your skin. (www.cicret.com)



Employment

この子でも出来る！

適切な支援があれば・・

～日本理化学のもう一つの使命～

日本理化学工業は全従業員81人中60人が知的障がい者(内27人が重度の障がい者)が働いている、学校で使うチョーク製造を主とした会社です。（平成28年6月現在）

会社創立は昭和12年ですが、知的障がい者の雇用は昭和35年2人を雇用したのがスタートでした。このような障がい者多数雇用を目指したのは、禅寺のお坊さんから「人間の究極の幸せは、1つは愛されること、2つ目はほめられること、3つ目は人の役に立つこと、4つ目は人に必要とされることの４つです。福祉施設で大事に面倒をみてもらうことが幸せではなく、働いて役に立つ会社こそが人間を幸せにするのです」と教わったからでした。

そして障がい者雇用の助成金制度の出来る4年前、重度障害者多数雇用モデル工場設立についての融資制度が出来、労働省からの是非の声もあって制度を活用して川崎工場を作ったのです。条件は従業員の50%が障がい者で内その半分が重度の障がい者を雇用し、金利4.6%、20年で返済することでした。

ここからのスタートであったので、今日の雇用割合になっているのです。

ジョブコーチ制度もなかった中、地域の最低賃金を払いつつ20年返済もすでに果たし、障がい者達の頑張りのお陰で国内チョーク業界にあってシェア30%を超えるトップメーカーなって居り、重度の障がい者達でも企業の貴重な労働力となることを実証できたと思っています。

この間会社は、知的障がい者から一般社会では得られない多くの気づき、それも人間としての生き方、社会・国のあり方まで多くの示唆をもらいました。この気づきは多くの方に伝えることが日本理化学のもう一つの使命と考え以下ここにお伝えする次第であります。

http://www.rikagaku.co.jp/handicapped/chairperson.php

この子だから出来る！

障害があるが故の特性を活かす・・

読み書きのできないダウン症の女性。ハンデを武器に「天職」で大活躍

ダウン症などの障がいを患って生まれた21歳の女性、エマ・ライナムさん。そんな彼女は自身のハンディキャップを活かし、素晴らしい「天職」を手に入れたのでした。

オーストラリアのクイーンズランド州に住むエマ・ライナムさん。彼女はダウン症と軽度の自閉症・難聴などを患って生まれました。

そのため現在でも彼女は読み書きができず、通常の職に就くことは難しいと考えられていたのです。

しかし転機が訪れました。オフィス業務を体験するという学校のプログラム。そこで彼女は他の業務に興味を示さないものの、シュレッダーだけには夢中になったのです。

読み書きの出来ないエマさんは、どんなに機密の文書を見せても心配がありません。彼女はまさにシュレッダーが「天職」だったのです。

自立とは・・・

自立は、依存先を増やすこと

熊谷晋一郎さん（くまがやしんいちろう）
小児科医／東京大学先端科学技術研究センター・特任講師
1977年、山口県生まれ。

“障害者”というのは、「依存先が限られてしまっている人たち」のこと。健常者は何にも頼らずに自立していて、障害者はいろいろなものに頼らないと生きていけない人だと勘違いされている。けれども真実は逆で、健常者はさまざまなものに依存できていて、障害者は限られたものにしか依存できていない。依存先を増やして、一つひとつへの依存度を浅くすると、何にも依存してないかのように錯覚できます。“健常者である”というのはまさにそういうことなのです。世の中のほとんどのものが健常者向けにデザインされていて、その便利さに依存していることを忘れているわけです。

http://www.tokyo-jinken.or.jp/jyoho/56/jyoho56_interview.htm

ATDS

Assistive Technology Dissemination Society

NPO法人支援機器普及促進協会

http://npo-atds.org